上越教育大学　　第２２７号　２０２１年１０、１１月

国際交流のひろば

令和3年度留学生の日本の文化・歴史体験に関する研修

１１月２４日(水)午後、糸魚川市において研修を行い、フォッサマグナミュージアム、谷村美術館･玉翠園、ヒスイ海岸、マリンドリーム能生を見学しました。この研修は留学生に日本文化・歴史体験や交流の機会を提供することを目的に行っています。毛さんから感想文を寄せてもらいました。

研究生　毛宇麟（中国）

留学生が日本の文化や歴史を体験するために、糸魚川市の様々な所に連れて行ってくださいました。糸魚川フォッサマグナミュージアム、谷村美術館・玉翠園とヒスイ海岸に行きました。

ミュージアムで多種の石を見て、糸魚川に関する知識も勉強しました。石は翡翠や水晶など様々あって非常に綺麗だったと思います。次に、谷村美術館・玉翠園に行きました。その中には木彫芸術家澤田政廣先生の作品がたくさんあって素晴らしかったです。日本スタイルの庭園も非常に綺麗で驚きました。美術館の後、ヒスイ海岸に着きました。天気が悪かったが、皆さんと一緒に波を見たり、写真を撮ったりして楽しかったです。

今回の研修のおかけで、糸魚川市の歴史を学んだことだけではなく、皆さんとも仲良くなることができてとても嬉しかったです。次回の研修も楽しみにしています。

フォッサマグナミュージアム

谷村美術館・玉翠園

修了生からの手紙

令和３年３月に修了し、コスタリカで活躍されているマリアさんからお手紙が届きました。

令和２年度教員研修留学生　SOTO CHINCHILLA MARIA JOSE（コスタリカ）

お元気ですか？私は日本に住むことに強い憧れがあり、それは夢のようで、もちろんコロナウイルスは抜きです。現実は少し違いましたが。私は上越に１年住んで、もっと長く住めたらいいのにと思いました。それでも多くのことを学び、素晴らしい人々と出会い、それらは将来日本に戻りたいと強く思わせます。去年の３月にコスタリカに帰国し、家族や友達と一緒に過ごしたいと思っていましたが、それは難しいことでした。コスタリカも厳しい状況にありました。学校に関してはその家庭ごとにオンライン授業か学校で受けるかを決めるため、全ての生徒と顔を合わせて授業することができませんでした。日本から帰国して、私は日本語学習を続けることにしました。そして　日本の先生の元で補助として働く機会を得ることができました。日本での留学生としての生活やその旅が終わったとしても、まだこのように日本に近づくことができるのがすごく嬉しいです。今、私の心は日本とコスタリカと共にあります。

発行・お問い合せ先
〒943-8512　新潟県上越市山屋敷町１番地 上越教育大学 国際交流推進センター「国際交流のひろば」
TEL:025-521-3665（研究連携課 国際交流・地域連携チーム）